



一年のまとめを

校長 新家子 直之



風の中に感じられる暖かさが日ごとに増し、春が近づいていることをお知らせしています。あいさつの小径にもスイセン、パンジー、ヒヤシンスなどの花が咲き、その中を子どもたちが元気に登校してきます。

先週は、授業参観・保護者会を急に中止することとなり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。各学年では、児童の成長を見ていただく準備を進めておりましたが叶いませんので、この状況の中、できる形でお伝えできればと考えております。

学年によって計画していた内容が異なることもあり、児童が手紙や作品で成長や感謝を表す学年もあれば、発表等を映像で見ていただく学年もありますが、その違いがあることについてはご理解をいただけますようお願いいたします。詳細は別途お知らせいたします。

さて、3月になりました。学校では学習及び生活のまとめに入り、進級・卒業に向けての準備も始まりました。先日、次年度の指導に繋げていくために、職員で今年度の埼玉県学力学習状況調査（4～6年生）の結果をもとに、本校児童の学習の成果として伸びていることと課題について検証してみました。（下表参照）

		正答率 (国語)	正答率 (算数)	前学年から の伸び率 (国語)	前学年から の伸び率 (算数)
4 年	県	64.3	64.2	/	/
	市	63.4	63.0		
	自校	66.6○	68.2○		
5 年	県	62.1	61.7	82.1	65.3
	市	61.4	59.7	/	/
	自校	63.4○	61.5		
		85.3○	72.6○		
6 年	県	58.8	59.0	87.3	61.1
	市	56.9	55.6	/	/
	自校	52.5	55.6		
		89.8○	59.2		

学力については、正答率では4年生が国語・算数、5年生が国語が県平均を上回っており、昨年からの伸び率では5年生が国語・算数、6年生が国語が県平均を上回っていました。国語については学校研究による授業改善の成果があったものと思われます。また、学校全体の児童の読書量も昨年より約26%も増えました。国語は全ての教科の基礎となるものであり、次年度は言葉を大切にしながら、読み取る力を高め、さらに「書く」表現力も高めていきたいと思いをします。

児童の質問紙調査からは「将来の夢や希望をもっている」「自分には良いところがある」「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」などの数値が県より低いことから、自己肯定感が高くないことも分かってきました。また、ふだんの生活での「返事」「掃除」「言葉遣い」など、教師がよくできていると感じていることと、児童が評価していることにギャップがあることも分かりました。

楽しくて力のつく授業を行っていくことはもちろんですが、その授業や学級経営を通して、これまで以上に児童一人一人の良さを認め、具体的にどこが良いのか伝わるように褒めていくこと、その子の中での少しの伸びでも評価していくことなどが、これからの私たち教師の課題です。

また、家庭学習の時間が県平均より短く、ゲームやスマホ等をしている時間が長いこと、その扱いについて約束や決まりがない家が多いことなど、学校以外の時間の過ごし方にも少し課題があるようです。家庭での生活についても、もう一度お子さんと一緒に確かめていただきたいと思います。

あと残り一月です。成果と課題が、次年度に繋がっていくように最後までしっかりと指導していきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いたします。

